

大和証券グループ

2020年10月13日

各位

株式会社大和証券グループ本社
大和証券株式会社

国際資本市場協会「グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則アドバイザー・ カウンスル」への選出について ～アジアの引受証券会社で唯一の選出～

このたび大和証券株式会社は、国際資本市場協会（International Capital Market Association、以下「ICMA」）のグリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則（以下「グリーンボンド原則等」）のアドバイザー・カウンスル（Advisory Council）に、アジアの引受証券会社として唯一のメンバーとして選出されました。

大和証券グループ（以下「当社グループ」）は、過去10年以上にわたり、環境・社会課題の解決に資する金融商品の開発と提供に尽力してまいりました。2018年には、SDGs（国連の持続可能な開発目標）達成に向けてこれらの取組みを加速させるべく、『SDGs推進委員会』（委員長：代表執行役社長 中田誠司）を設置しております。また本年4月には執行役副社長 田代桂子がSDGs担当に就任し、SDGsの期限である2030年に向けて、さらなる施策の推進に努めています。

ICMAは、国際債券市場にかかる自主規制団体です。2020年10月現在、発行体、発行市場・流通市場取引仲介業者、アセット・マネージャー、投資家及び資本市場インフラ運営者など、世界62カ国の600超の会員で構成されています。当社グループは、2014年にグリーンボンド原則の策定に携わり、現在ではソーシャルボンドのワーキンググループ、トランジションファイナンスのワーキンググループのメンバーとなっています。

本アドバイザー・カウンスルは、ICMAにおいてグリーンボンド原則等のルールを制定する委員会であるエグゼクティブ・コミッティーを補佐し、市場の実勢により即した制度を策定することを目的として、2019年より設立された諮問機関です。

今回、世界の投資家、発行体及び引受証券会社から19団体がメンバーとして選出され、当社は引受証券会社5社のうちの1社に選出されました。

大和証券グループ

今回の本アドバイザー・カウンシルへの選出に関しては、SDGs 債に関連した取組みや成果が評価されたものと考えており、当社グループは従来のグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドに加え、サステナビリティ・リンク・ボンド、トランジション・ボンドといった新たな枠組みの確立・発展に向けて努めると共に、引き続き持続可能な社会の創造に向けて貢献してまいります。

以 上

(ご参考)大和証券グループのSDGsに関する取組み:

https://www.daiwa-grp.jp/sdgs/?cid=ad_eir_sdgspress